



南中のかぜ

学校便り第7号

令和7年9月5日

小金井市立南中学校

小金井市貫井南町 1-26-1

<http://www.koganei.ed.jp/~minamijhs/>
tel:042-383-1105・fax:042-382-0405



あるラジオ番組で

校長 金井 誠

去る8月19日、NHK・Eテレで「8月31日の夜が来る前に。」という番組が放映されました。(本校は8月27日が2学期の始業式でしたが、9月1日に始業式を行う学校が多いことから、「8月31日の夜」というのは「学校が始まる日の前夜」のことです。)2学期を目前に控え「学校に行きたくない。」「行けない。」「辛い。」「自分はどうすればよいか分からない。」「…そのように感じたり悩んだりしている人たちの気持ちについて考え、寄り添う内容でした。

この番組に出演していた声優の佐倉綾音さんは、後日、自らがパーソナリティを務めるラジオ番組で、以下のようなことを語っていました。辛い思いをしている人や苦しんでいる人、悩んでいる人の気持ちに寄り添うとはどのようなことなのか、いろいろ考えるきっかけになるといったので紹介します。

夏休みの終わりの気持ちについて考える番組「8月31日の夜が来るまえに。」に不登校経験者として出演しました。8月31日、言葉を選ばずに言うと、一番自殺者の多い日だそうです。そんな辛い思いの人が多い日に、そういった方に少し耳を傾けてもらって気持ちを共有したり、エンターテインメントとして少し楽しんでもらったりして、辛い気持ちを少しでも逃がす、というような目的でした。非常に貴重で勉強になる、そして私自身も少し心が軽くなる、「過去を成仏させる」ことができるような時間でした。(中略)

言葉の重さって、その時々で変わると思います。言葉が人を傷付けたり、何かを動かしたり、良い方にも悪い方にも突き動かしていると思います。今回出演した番組は、一つ一つ言葉に重さがありました。スタッフさんからも事前の打ち合わせで「空白の時間があってもOKです。誰もしゃべらない時間があっても構いません。」という申し送りがあり、集中力を欠いた言葉や、空白を埋めるための軽い言葉とか、そういったものは必要ない、ということでした。慎重に言葉をつなぎながら自分と他人について考える、とても有意義な時間だったと思います。(中略)

番組の中で視聴者の皆さんからのメッセージを聞いていて思ったのですが、「いろいろな物事について深く考える心をもっている人の方がしんどい思いをしやすい。」というのは、間違いないと思っています。多少のことは流せたり深い所に手をつっ込んだりしない人の方が、実はちょっと学校に行きやすかったり深く考えないで済んだり…。そういったことは事実としてあると思うので、そういう深みに一緒に「入っていける」人たちと一緒に話ができたことが、とてもうれしかったです。また、「不登校は深い海の底にいる感覚で、沈んでいる自分を引っ張り上げようとしたり、手を引いていこうとしたりするよりも、その海の底で一緒に遊んでくれる人が欲しかったんだと思います。」とおっしゃっている方がいて、まさに不登校の時の私もそういう気持ちだったんだと思いました。夜、母親が静かに何も聞かずにドライブに連れて行ってくれたことがとても印象に残っていて、それは、一緒にしゃがんで一緒に景色を、一緒に景色ではないかもしれないけど、背中合わせかもしれないけど、同じ所にしゃがみ込んで一緒に遊んでくれていたんだな、って感じました。

佐倉さんは、今や大人気の声優さんですが、小学校高学年と中学校３年間は不登校で、高校に進学した後、声優の仕事をはじめたそうです。前段で紹介したラジオ番組では、普段は下ネタも辞さず、リスナーのメッセージをグシャグシャにするなど破天荒な面も見えますが、語彙が豊富で機転が利き、考えの深さ、知識の幅広さを所々で感じさせます。「８月３１日の夜が来る前に。」や今回のこのラジオ番組では、今、辛い思いをしている人に、自身の経験（佐倉さんは「地獄」と呼んでいましたが。）を重ねながら一つ一つ言葉を選び、そして、率直にご自身の心の内と想いを語っているように思えました。

佐倉さんはこのラジオ番組の中で、次のようなこともお話ししていました。

「この間、友達と話していて『黒歴史』という言葉が私が使った時に、『歴史に色なんてないよ。あるのはその事実だけだよ。』って言われました。『自分の中で黒く塗っているだけで、塗り方によってはただの歴史になるんだ。』と、ちょっと前を向くことができました。今後も黒歴史っていう言葉はその場のノリで使うこともあると思いますけど、本心としては、今苦しい人たちがその苦しさをやり過ごした、乗り切った、乗り越えた後、過去に塗る色が少しでも自分の好きな色だといいな、と思います。」

南中生の活躍

大会名	成績	生徒名（学年）
（新体操：所属するクラブチームで出場しました）	7 位	FIT.RG brilliant
第 3 2 回 秋川カップ ジュニア 団体の部		（ 1 年）
		（ 2 年）
		（ 3 年）
第 3 2 回 秋川カップ ジュニア フープ	7 位	（ 3 年）

☆校外のボランティアに積極的に参加した生徒☆

（２年）	３０回	（２年）	２１回	（１年）	１６回
（２年）	１４回	（１年）	１２回	（２年）	１０回
（１年）	９回	（１年）	９回	（３年）	９回
（３年）	８回	（３年）	８回		

※ 記載されている数値は、４月以降に参加した回数です。

※ 他にもボランティアに積極的に参加している生徒がいます。今回は８回以上（ボランティアカード１枚以上）取り組んだ生徒を学校便りで紹介しています。ボランティアに参加した生徒は、ボランティアカードを持って副校長の所まで来てください。

夏季休業中は、第四小学校のラジオ体操や、避難所体験、こども家庭センター（ゆりかご）など、たくさんの方で、南中生がボランティア活動に参加しました。たくさんの方の地域の方が喜んでくださっていたと伺っています。生徒たちにとっても大きな経験となっています。

９月１３日（土）～１５日（月・祝）の貫井神社祭礼のボランティアも募集しています。地域の行事ですので、ぜひ参加してください。詳細は、まなびポケットをご覧ください。